

藤田正一氏が藍綬褒章受章

平成18年春の褒章伝達式が5月17日、皇居において行われ、那珂川町消防団長藤田正一氏（小口）が藍綬褒章を受章されました。藤田氏は、36年間消防団活動に精励され、その功績が実を結び受章されたものです。

また、6月10日グリーンパルで行われた受章祝賀会で藤田団長は、「過去の災害では昭和52年の山林火災、昭和61年の台風の水害、平成10年の余笹川の水害などが思い起こされます。4月1日から那珂川町消防団としてスタートしました。毎日、安心して安全で暮らせる地域づくりのために、なお一層努力し、消防団の充実を図りたい」とあいさつしました。



小川那珂クラブが

県大会で優勝

第26回全日本学童軟式野球大会（マクドナルド・トーナメント）県予選が6月3日、県営本球場で行われ、小川那珂クラブが初優勝しました。

小川那珂クラブは準決勝で、藤沢正人捕手が左腕を脱臼するアクシデントに見舞われましたが、清原中央スポーツ（宇都宮）を4対0で、決勝では五代ブルファイターズ（宇都宮）を6対4で下し、みごと優勝を果たしました。

大橋忠興監督は、「8月12日から水戸市で開かれる全国大会出場に向けて、しっかりと練習を積みみたい」と話していました。

石澤宏明さんが表敬訪問
バヌアツに向けて
抱負語る

青年海外協力隊として南太平洋諸島のバヌアツに派遣される石澤宏明さん（三輪）が6月21日、町長室を訪れ、抱負などを語りました。

石澤さんは現在、日光市南原小教諭で、小学生のころからあこがれていた青年海外協力隊に応募。バヌアツ国のエファテ島北部マヌア小学校に1年9カ月勤務し、音楽や図工、体育を担当することになりました。

現地では「音楽の授業がないので、みんなで一つのことを行う音楽の楽しさを知ってもらいたい」と抱負を語りました。川崎町長は「那珂川町を代表して頑張ってきてください」と激励しました。



小川小学校に「人権の花」

人間として生まれながらにもっている権利、人権感覚を小学生の時から培ってもらおうと6月6日、小川小学校で人権の花贈呈式が行われました。

式典で、人権擁護委員代表の薄井忠恵氏（小川）は「花を育てることによってやさしい心が芽生え、困っている人を助けられるようになってください」とあいさつ。

ブルーサルビアとペゴニアの苗70鉢と松葉牡丹などの花の種270袋が贈られました。

故川上宗男氏に旭日双光章

去る4月16日にお亡くなりになられた元小川町議会議長川上宗男氏（小川）の生前の功績に対し旭日双光章が授与されました。
在りし日のご活躍を偲び謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



県民の日記念式典で 各種功労者、優良学校表彰

6月15日、栃木県総合文化センターで行われた県民の日記念式典で那珂川町の方や学校が表彰を受賞しました。
（敬称略）

消防功労者 大金市美（副団長）
優良学校 馬頭西小学校
小川中学校

馬頭西小学校児童 着衣水泳体験

6月22日、大桶にあるスイミングスクールで水泳教室が行われました。今回は教室一回目として特別に服を着たままプールに入る、「着衣水泳」に取り組みました。

これは夏休み中などに、万一の水難事故などに備えて、着衣のまま水に入った場合の動きずらさなどを経験してもらおうと行われました。

児童たちは体操服などを着たままプールに入り、水を吸った服の重さや手足の動かしにくさを体験しました。



舟戸水神会などが奉仕作業

自分たちの住んでいる地域をいっもきれいにしておこうと5月28日、舟戸水神会などが那珂川堤防のサイクリングロードや県道矢板馬頭線沿線の除草作業とごみ拾いを行いました。

この日は27名が朝6時に集合。「舟戸水神会」は道路、「舟戸元氣かい」と「本町リトルラブ」が堤防を担当し、2時間の奉仕作業で軽トラック1台分のごみが集まりました。

水神会会長の鈴木裕行さんは「奉仕作業は、年3回実施しているが、那珂川や自分たちの住む地域がいつもきれいであるよう、できるだけ継続していきたい」と話していました。



ふるやこの味

「ペガサス便」発送

6月26日、馬頭の室町会館においてふるさとの味を届ける「ペガサス便」の発送作業が行われました。

このペガサス便は毎年町観光協会が県内外の方にふるさとの産物を味わってもらおうと行っているもので、今回は、鮎の塩焼き、ひやむぎ、小砂焼、温泉天然水、手作りパン、季節の野菜など6種類が送られました。

「東京の子どもに毎年送っています。お礼の電話がうれしいです」と話してくれる利用者もいるそうです。

ペガサス便は年内に3回特産品などが送られることになっていて、今回は、9月に新米などが届けられます。

